

「フォトコンテスト」受賞作品のご紹介

泉崎村民文化祭が第50回目を迎える節目の特別企画として開催したフォトコンテストの受賞作品を紹介します。

【文化協会長賞】

作品名：お気に入りの場所。

作者：深谷 弥生さん

審査員講評：白いワンピースを着た髪の長い女の子が故郷の原風景を眺めている、何か物語りを感じる写真で想像を掻き立てられます。将来この女の子にとって思い出の1枚になるのではないのでしょうか。



はっぴい ばあすでい Happy Birthday

今月1歳の誕生日



小松
澄玲ちゃん(字八雲神社)



草野
泰那くん(字天王山)



リレートーク

289

八島 敬さん(字天王山)

原発事故により富岡町から泉崎村に移住して10年になろうとしています。震災当日、津波警報により海岸近くの勤務地から高台の体育館に避難して一夜を過ごしました。次の朝、原発事故により川内村の体育館へ移動し、5日後に会津若松市で合流した家族と4年間の避難生活を余儀なくされました。

当分富岡町には戻れない状況になり、土地探しを始めました。県内はもちろん茨城県、栃木県まで出かけました。栃木県から会津若松市に帰る途中、泉崎村という標識を見かけ、以前「分譲地を宣伝

するために東京まで行進した」というテレビ放映を思い出しました。調べるとまだ販売していることが分かり、次の休みに見学に行きました。駅や高速道路に近く、野菜作りの土地も確保できたのですぐに決断しました。

野菜作りは失敗の連続でしたが、何とか収穫できるようになりました。家内が他界してからは調理するのに四苦八苦しています。自治会や村の行事にも参加させていただき、穏やかな日々を送っています。今後は自分なりに地域に貢献できることを模索したいと思います。



次回、石下 恭子さんに
バトンタッチ！